

6. 研究の概要

・はじめに、研究分野、研究キーワード、研究開発の性格について記載すること。

例) 研究主分野 : 101、ライフサイエンス、ゲノム

研究副分野 1 : 102、ライフサイエンス、医学・医療

研究副分野 2 : 104、ライフサイエンス、脳科学

研究副分野 3 : 105、バイオインフォマティクス

研究キーワード 1 : 1、遺伝子

研究キーワード 2 : 2、ゲノム

研究キーワード 3 : 6、核酸

研究キーワード 4 : 7、細胞、組織

研究キーワード 5 : ー、システム生物学

研究開発の性格 : 応用研究

重点研究分野コード表より
選び、番号、重点研究分野、
研究区分を記入

研究キーワード候補リスト
より選び、コード番号
研究キーワードを記入

該当するものがない場合30字以内で独自に記入

基礎研究、応用研究、開発研究のいずれに当たるかを記載

・「7. 研究の目的、必要性及び期待される成果」から「10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」までの要旨を1,000字以内で図表等を用いたり簡条書きにして工夫するなど簡潔に記入すること。

・分担研究者がいる場合には、主任研究者が進めようとする目的の達成のために、主任及び分担研究者の受け持つ各研究がどのように関連し進んでいくかがわかるように明確に記入すること。

・複数年度に渡る研究の場合には、研究全体の計画と当該年度の計画がわかるように記入すること。

7. 研究の目的、必要性及び期待される成果

・厚生労働行政の課題との関連性を含めて1,000字以内で記入すること。

・なお、期待される成果については、当該研究によって直接得られる研究結果だけでなく、当該研究を行うことにより、国民あるいは社会に対してどのような貢献（国民の保健・医療・福祉の向上等）ができるのかについても記入すること。

・複数年度に渡る研究の場合には、当該年度で達成できる予想成果も記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮

<p>・研究目的を達成するための研究目標、研究仮説及びその解明方法を図表等を用いたり箇条書きにするなど工夫して<u>1,600字以内</u>で記入すること。</p> <p>・分担研究者がいる場合には、分担研究者の協力体制等についても記入すること。</p> <p>・複数年度に渡る研究の場合には、研究全体の計画と年次計画がわかるようにするとともに、当該年度で目指す研究目標、研究仮説及びその解明方法を記入すること。</p>
倫理面への配慮
<p>・研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームドコンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などを<u>必ず記入すること</u>。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨記入するとともに必ず理由を明記すること。</p> <p>・人又は動物を用いた研究を行う際に、事前に申請者の所属施設の倫理委員会等において倫理面からの審査を受けた場合には、審査内容を<u>必ず添付すること</u>。</p>

書類提出時には、ページを付すこと。

1 1. 申請者の研究歴等

・申請者について研究を行った研究機関名、共同研究者(又は指導を受けた研究者)、研究課題、研究機関等について記入すること。

発表業績：著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後の頁）

(主任研究者)
 ○ Suzuki H, Nakamura K, Yamada T and Yamamoto H, Synaptophysin and chromogranin A immunoreactivities of lewy in Parkinson's disease Brain Res 1993 234:123-132.

主任研究者及び分担研究者ごとに、それぞれ過去3年間に学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なものを選択し、直近年度から順に記入すること。また、本研究課題に直接関連した論文・著書については、著者氏名の前に○を付すこと。

(分担研究者)

1 2. 厚生労働科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者

年 度	外国人研究者招へい	外国への日本人研究者派遣事業	若手研究者育成活用事業 (リサーチ・レジデント)
平成14年度	1名	1名	2名
平成15年度	1名	1名	2名
平成16年度	1名	1名	2名

複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

13. 研究に要する経費

内訳については、公募要項6. 補助対象基準額一覧表を参考に算出すること。

(1) 各年度別経費内訳

(単位：千円)

年 度	研究経費	内 訳							
		謝 金	旅 費	備品費	消耗品費	備料及び燃料	賃 金	その他	委託費
平成14年度	50,000	1,000	1,000	2,000	34,000	5,000	1,000	1,000	5,000
平成15年度	30,000	1,000	1,000	2,000	14,000	5,000	1,000	1,000	5,000
平成16年度	30,000	1,000	1,000	2,000	14,000	5,000	1,000	1,000	5,000
合 計	110,000	3,000	3,000	6,000	62,000	15,000	3,000	3,000	15,000

複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。

(2) 備品の内訳 (50万円以上の備品については、原則として賃借によること)

ア. 借料及び損料によるもの (賃借による備品についてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	賃借の経費 (単位:千円)	数 量
平成14年度			
平成15年度			
平成16年度			

単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約を行う予定のものを記入すること。

複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。

イ. 備品費によるもの (50万円以上の備品であって、賃借が不可能なものについてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	単 価 (単位:千円)	数 量
平成14年度			
平成15年度			
平成16年度			

単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約が不可能であり、やむを得ず購入する予定のものを記入すること。

複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

(3) 委託費の内訳

(単位：千円)

年 度	委 託 内 容	委 託 先	委 託 費
平成14年度			
平成15年度	複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。		
平成16年度			

14. 他の研究事業等への申請状況 (当該年度)

(単位：千円)

研究事業名	研 究 課 題 名	補助要求額	所管省庁等
〇〇〇研究費	〇〇〇〇に関する研究	12,000	文部科学省
当該年度に申請者が、国又は地方公共団体若しくはその他の団体へ研究費の申請を行おうとしている場合について記入すること。			

15. 研究費補助を受けた過去の実績 (過去3年間)

(単位：千円)

年 度	研 究 事 業 名	研 究 課 題 名	補 助 額	所管省庁等
平成13年度	厚生科学研究費補助金 (厚生科学研究特別研究事業)	〇〇〇〇に関する研究	3,000	厚生労働省
	〇〇〇助成金	〇〇〇〇に関する研究	30,000	文部科学省
平成12年度	〇〇〇研究費	〇〇〇〇に関する研究	5,000	文部科学省
	〇〇〇〇研究 (分担)	〇〇〇〇に関する研究	5,000	環境省
平成11年度	〇〇〇研究費	〇〇〇〇に関する研究	5,000	(財)〇〇財団

直近年度から遡って過去3年間において、申請者が補助を受けた主要な研究事業について記入すること。(分担研究として実施したものを含む。)

※ 記入上の留意事項は添付しないこと。

書類提出時には、ページを付すこと。

重点研究分野コード表

番号	重点研究分野	研究区分
101	ライフサイエンス	ガノム
102	ライフサイエンス	医学・医療
103	ライフサイエンス	食料科学・技術
104	ライフサイエンス	脳科学
105	ライフサイエンス	バイオインフォマティクス
106	ライフサイエンス	環境・生態
107	ライフサイエンス	物質生産
189	ライフサイエンス	共通基礎研究
199	ライフサイエンス	その他
201	情報通信	高速ネットワーク
202	情報通信	セキュリティ
203	情報通信	セキュリティ・アプリケーション
204	情報通信	家電ネットワーク
205	情報通信	高速コンテンツ・アプリケーション
206	情報通信	ミニレシジョン
207	情報通信	大容量・高速記憶装置
208	情報通信	入出力 *
209	情報通信	認識・意味理解
210	情報通信	センサ
211	情報通信	ヒューマンインタフェース評価
212	情報通信	ソフトウェア
213	情報通信	デバイス
289	情報通信	共通基礎研究
299	情報通信	その他
301	環境	地球環境
302	環境	地域環境
303	環境	環境リスク
304	環境	循環型社会システム
305	環境	環境多様性
389	環境	生物共通基礎研究
399	環境	その他
401	ナノテク・材料	ナノ物質・材料 (電子・磁気・光学応用等)
402	ナノテク・材料	ナノ物質・材料 (構造材料応用等)
403	ナノテク・材料	ナノ情報デバイス
404	ナノテク・材料	ナノ医療
405	ナノテク・材料	ナノバイオロジ
406	ナノテク・材料	ナノエネルギー・環境応用
407	ナノテク・材料	表面・界面
408	ナノテク・材料	計測技術・標準
409	ナノテク・材料	加工・合成・プロセス
410	ナノテク・材料	基礎物性
411	ナノテク・材料	計算・理論・シミュレーション
412	ナノテク・材料	安全空間創成材料
489	ナノテク・材料	共通基礎研究
499	ナノテク・材料	その他

番号	重点研究分野	研究区分
501	エネルギー	化石燃料・加工燃料
502	エネルギー	原子力エネルギー
503	エネルギー	自然エネルギー
504	エネルギー	省エネルギー・エネルギー利用技術
505	エネルギー	環境に対する負荷の軽減
506	エネルギー	国際社会への協力と貢献
589	エネルギー	共通基礎研究
599	エネルギー	その他
601	製造技術	高精度技術
602	製造技術	精密加工
603	製造技術	高精度価値付加技術(マイクロマシン等)
604	製造技術	環境負荷最小化
605	製造技術	品質管理・製造現場安全確保
606	製造技術	製造的ものづくり
607	製造技術	医療・福祉機器
608	製造技術	先進プロセス
609	製造技術	システム
689	製造技術	共通基礎研究
699	製造技術	その他
701	社会基盤	異常自然現象発生メカニズムの研究と予測技術
702	社会基盤	災害被害最小化応用技術研究
703	社会基盤	超事故対策システム
704	社会基盤	社会基盤技術
705	社会基盤	社会基盤の劣化対策
706	社会基盤	有自然と共生した美しい生活空間の再構築
721	社会基盤	広域地域研究
722	社会基盤	水循環系健全化・総合水管理
723	社会基盤	新しい人と物の流れに対応する交通システム
724	社会基盤	新しい人と物の流れに対応する交通システム
725	社会基盤	ユニバーサルデザイン化
789	社会基盤	共通基礎研究
799	社会基盤	その他
801	宇宙科学	宇宙科学 (天文を含む)
802	宇宙科学	宇宙開発利用
821	宇宙科学	海洋開発
822	宇宙科学	海洋開発
889	宇宙科学	共通基礎研究
899	宇宙科学	その他
900	人文・社会	
1000	自然科学一般	

*1: 情報通信システムとの入出力を容易にする技術。ただし、研究区分番号209~211を除く。

研究キーワード候補リスト

番号	研究キーワード
1	遺伝子
2	ゲノム
3	蛋白質
4	糖
5	脂質
6	核酸
7	細胞・組織
8	生体分子
9	生体機能利用
10	発生・分化
11	脳・神経
12	動物
13	植物
14	微生物
15	ウイルス
16	行動学
17	進化
18	情報工学
19	プロテオーム
20	トランスレクションオクルサーチ
21	移植・再生医療
22	医療・福祉
23	再生医学
24	食品
25	農林水産物
26	組換え食品
27	バイオテクノロジー
28	痴呆
29	糖
30	糖尿病
31	循環器・高血圧
32	アレルギー・ぜんそく
33	感染症
34	脳神経疾患
35	老化
36	薬剤反応性
37	バイオ関連機器
38	フォトリックネットワーク
39	先端の通信
40	有線アクセス
41	インターネット高度化
42	移動体通信
43	衛星利用ネットワーク

番号	研究キーワード
44	暗号・認証等
45	セキュア・ネットワーク
46	高信頼性ネットワーク
47	著作権・コンテンツ保護
48	ハイパフォーマンス・コンピューティング
49	ディペンダブル・コンピューティング
50	アルゴリズム
51	モデル化
52	可視化
53	解析・評価
54	記憶方式
55	データストレージ
56	大規模ファイルシステム
57	マルチメディアインターネット
58	画像・文章・音声等認識
59	多言語処理
60	自動タブ付け
61	バーチャルリアリティ
62	エージェント
63	スマートセンサ情報システム
64	ソフトウェア開発効率化・安定化
65	ディレトリ・情報検索
66	コンテンツ・アーカイブ
67	システムオンチップ
68	デバイス設計・製造プロセス
69	高密度実装
70	先端機能デバイス
71	低消費電力・高エネルギー密度
72	ディスプレイ
73	リモートセンシング
74	モニタリング(リモートセンシング以外)
75	大気現象
76	気候変動
77	水圏現象
78	土壌圏現象
79	生物圏現象
80	環境質量定量化・予測
81	環境変動
82	有害化学物質
83	廃棄物処理
84	廃棄物再資源化
85	大気汚染防止・浄化
86	水質汚濁・土壌汚染防止・浄化

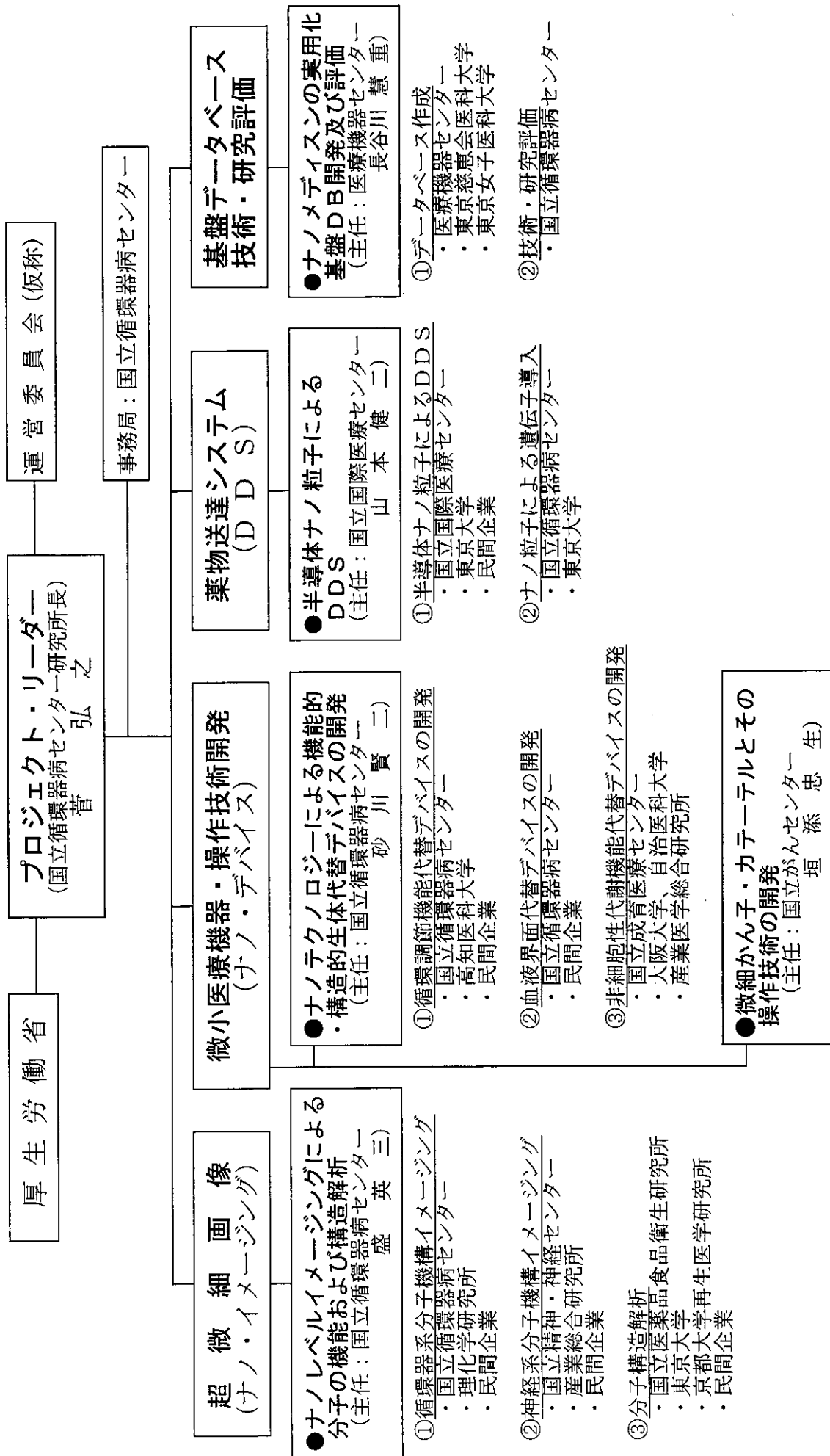
番号	研究キーワード
87	環境分析
88	公害防止・対策
89	生態系修復・整備
90	環境調和型農林水産
91	環境調和型都市基盤整備・建築
92	自然共生
93	政策研究
94	磁気記録
95	半導体超微細化
96	超高速情報処理
97	原子分子処理
98	走査プローブ顕微鏡(STM, AFM, STS, SNOM, 他)
99	量子ドット
100	量子細線
101	量子井戸
102	超格子
103	分子機械
104	ナノマシン
105	トンネル現象
106	量子コンピュータ
107	DNAコンピュータ
108	スピントロニクス
109	強相関エレクトロニクス
110	ナノチューブ・フラーレン
111	量子閉じ込め
112	自己組織化
113	分子認識
114	少数電子素子
115	高性能レーザ
116	超伝導材料・素子
117	高効率太陽光発電材料・素子
118	量子ビーム
119	光スイッチ
120	フォトニック結晶
121	微小共振器
122	テラヘルツ/赤外材料・素子
123	ナノコネクタ
124	超分子化学
125	MBE, エピタキシャル
126	I 分子計測 (SMD)
127	光ピンセット
128	(分子) モーター
129	酵素反応

番号	研究キーワード
130	共焦点顕微鏡
131	電子顕微鏡
132	超薄膜
133	エネルギー全般
134	再生可能エネルギー
135	原子力エネルギー
136	太陽電池
137	太陽光発電
138	風力
139	地熱
140	廃熱利用
141	ソージェネレーション
142	メタンハイドレート
143	バイオマス
144	天然ガス
145	省エネルギー
146	新エネルギー
147	エネルギー効率化
148	二酸化炭素排出削減
149	地球温暖化ガス排出削減
150	燃料電池
151	水素
152	電気自動車
153	LNG車
154	ハイブリッド車
155	超精密計測
156	光源技術
157	精密研磨
158	ブラズマ加工
159	マイクロマシン
160	精密部品加工
161	高速プロトタイプング
162	超精密金型転写
163	射出成型
164	高速組立成型
165	高速伝送回路設計
166	微細接続
167	バーチャルリアリティ
168	ヒューマンセンタード生産
169	複数企業共同生産システム
170	品質管理システム
171	低エンタロピー化指向製造システム
172	地球変動予測
173	地震
174	火山
175	津波
176	土砂災害

番号	研究キーワード
177	集中豪雨
178	高潮
179	洪水
180	火災
181	自然災害
182	自然現象観測・予測
183	雨震
184	雨震
185	免震
186	防災
187	防災ロボット
188	減災
189	復旧・復興
190	救命
191	消防
192	海上安全
193	非常時通信
194	危機管理
195	リアルタイムマネジメント
196	国土開発
197	国土整備
198	国土保全
199	広域地域
200	生活空間
201	都市整備
202	過密都市
203	水資源
204	水循環
205	流域圏
206	水管理
207	淡水製造
208	海水
209	延命化
210	長寿命化
211	コスト削減
212	環境対応
213	建設機械
214	建設マネジメント
215	国際協力
216	国際貢献
217	地理情報システム (GIS)
218	交通事故
219	物流
220	次世代交通システム
221	高度道路交通システム (ITS)
222	走行支援道路システム (AHS)
223	交通需要マネジメント

番号	研究キーワード
224	バリアフリー
225	ユニバーサルデザイン
226	輸送機器
227	電子航法
228	管制
229	ロケット
230	人工衛星
231	再使用型輸送系
232	宇宙インフラ
233	宇宙環境利用
234	衛星通信・放送
235	衛星測位
236	国際宇宙ステーション (ISS)
237	地球観測
238	惑星探査
239	天文
240	宇宙科学
241	上空利用
242	海洋科学
243	海洋開発
244	海洋微生物
245	海洋探査
246	海洋利用
247	海洋保全
248	海洋資源
249	深海環境
250	海洋生態
251	大陸棚
252	極地
253	哲学
254	心理学
255	社会学
256	教育学
257	文化人類学
258	史学
259	文学
260	法学
261	経済学

ナノメディシン研究体制 (指定型プロジェクト)



ゲノム科学を活用したスクリーニング技術の開発に関する研究(動物のゲノム情報とヒトゲノム情報を活用)

・化学物質や医薬品に関する動物試験及び臨床試験のデータ
・動物及びヒト細胞等に投与後の遺伝子発現データを収集し、これらのデータをデータベース化し、その情報を用いて、新たな化合物について、安全性を予測(スクリーニング)する技術を開発する



○既存物質によるたんぱく質や代謝物発現状況に関する技術(トキシコプロテオミクス、トキシコメタボロミクス)に関する研究
○新たなDNAチップ、プロテインチップを活用した毒性発現の評価及び活用手法等に関する研究
○プライマリーヒト肝・腎細胞を用いた薬剤暴露、遺伝子発現に関する研究

動物のゲノム情報をすぐにはヒトゲノム情報に活用が困難で、上記スクリーニングを補完する研究

○原因が不明で重篤な副作用に関連するヒト遺伝子に関する研究(但し、ステイプスジョinson症候群を除く)

指定研究

公募研究

安全性に
重点
をおいた
迅速な
医薬品開発
技術の確立